

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 30 日	
佐賀県知事 殿	
提出者 住 所 佐賀県鳥栖市本町1丁目933番地 氏 名 株式会社大石膏盛堂 代表取締役 伊藤健一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0942 - 83 - 2019	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 1 2 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	株式会社大石膏盛堂 山浦工場
事 業 場 の 所 在 地	佐賀県鳥栖市山浦町2539 - 1
計 画 期 間	令和8年4月1日から令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	医薬品製造業
② 事 業 の 規 模	122億7900万円 (令和7年8月末)
③ 従 業 員 数	257人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・現場での規格外の発生を極力減らし、産業廃棄物の発生を抑制している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・産業廃棄物の発生抑制を考慮した処方設計や資材採用を検討、実施する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 特になし
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 委託先の処理業者が処分しやすいように細かく種類ごとに分別している。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
・産業廃棄物を委託する際に優良認定処理業者と契約をしている。			

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・委託業者には定期的に現地確認を実施する。 ・今後委託をする際には電子マニフェストに対応した処理業者を選定する。		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら
中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中
5 間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入することによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）であつて、それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することか。でさないとさは、当該欄に「別紙のとおりと記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおりと記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項														
①現状	【前年度（令和 7年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	水銀使用製品密着廃棄物	汚泥（泥状のもの）	ガラスくず	ガラスくず	上水汚泥						
	排出量	1034.682 t	5.840 t	0.075 t	0.030 t	0.290 t	0.400 t	8.800 t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	管理型混合廃棄物	水銀使用製品密着廃棄物	汚泥（泥状のもの）	ガラスくず	ガラスくず	上水汚泥						
	排出量	1013.988 t	5.723 t	0.074 t	0.029 t	0.284 t	0.392 t	8.624 t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

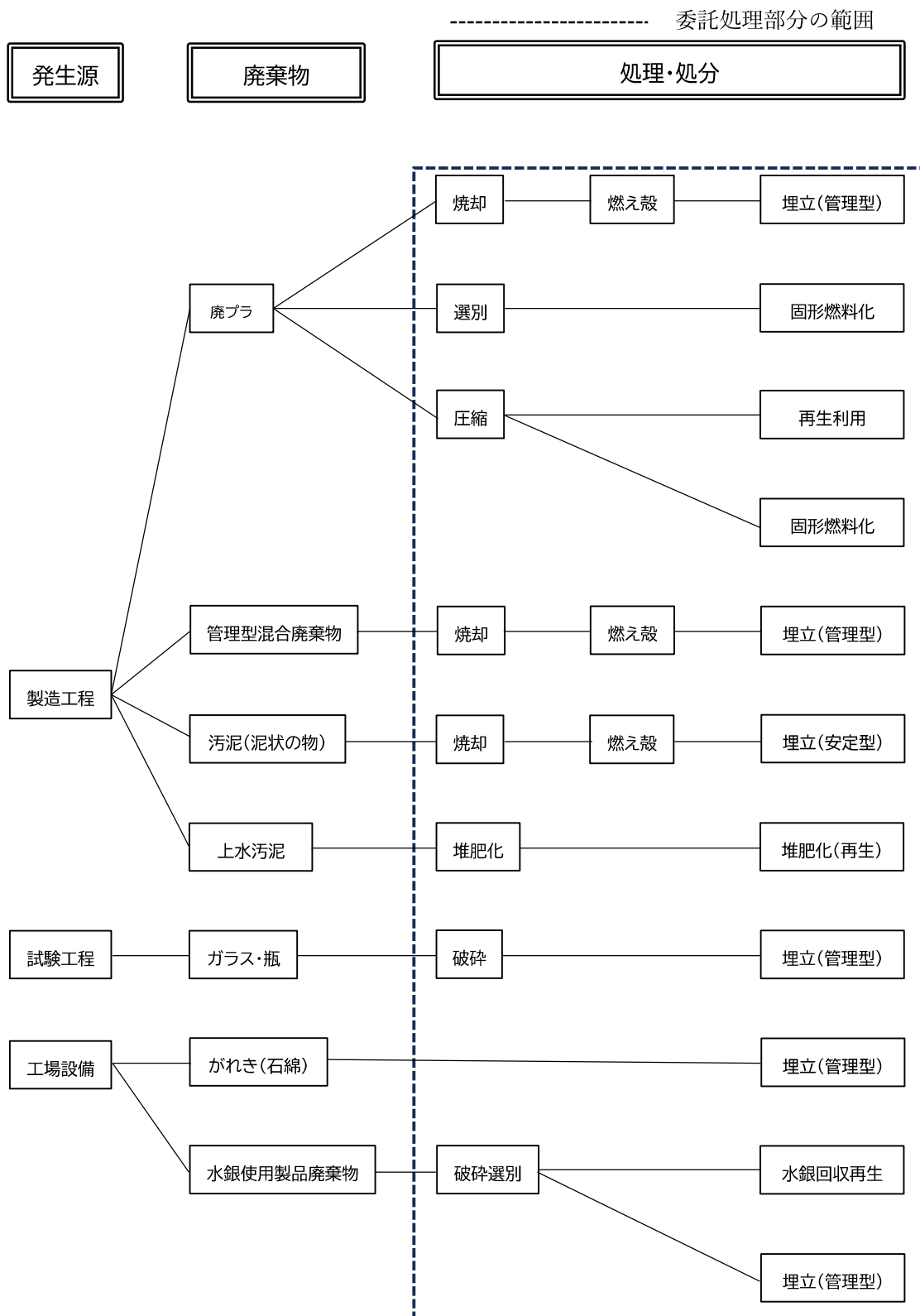
[illegible]

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

[illegible]

別紙 1 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2 産業廃棄物管理（組織図）

